

容器包装の3R推進のための自主行動計画 フォローアップ報告(2011年度実績)

3R推進団体連絡会

ガラスびんリサイクル促進協議会
PETボトルリサイクル推進協議会
紙製容器包装リサイクル推進協議会
プラスチック容器包装リサイクル推進協議会
スチール缶リサイクル協会
アルミ缶リサイクル協会
飲料用紙容器リサイクル協議会
段ボールリサイクル協議会



3R推進団体連絡会と自主行動計画

容器包装リサイクル法改正の審議過程

事業者の役割
の徹底・深化

主体間連携の
強化

3 R 推進団体連絡会の結成：2005年12月

第一次自主行動計画（2006～2010年度）
（2006年3月公表）

第二次自主行動計画（2011～2015年度）
（2011年3月公表）

I. 事業者による3R推進に向けた自主行動計画

2015年度推進目標

Reduce リデュース

- 軽量化・薄肉化による使用量削減（数値目標）
- 適正包装の推進
- 詰め替え容器の開発

Reuse リユース

- リユースびん市場開拓など容器別の取り組み
- 消費者意識調査など連携強化に向けた取り組み

Recycle リサイクル

- 回収率・リサイクル率の向上（数値目標）
- 容器包装のリサイクル性の向上
- 消費者へのPR・啓発
- 集団回収等の多様な回収の拡大に向けた研究・支援

II. 主体間の連携に資する取組み

消費者に対する普及啓発活動や、各種調査・研究活動への参画・実施を通じ**消費者・自治体・国**等との連携に資する取組みを展開します。

関係八団体共同の
取組み

容器包装廃棄物の3R推進普及啓発のため、

- 情報共有、意見交換の場の充実
- PR・啓発事業の継続
- 調査・研究事業の実施

各団体が取り組む
共通のテーマ

- 情報提供・普及啓発活動
- 調査・研究
- サプライチェーン事業者間の連携

数値目標の進捗状況

Reduce
リデュース

容器包装の軽量化はさらに進展

Recycle
リサイクル

概ね目標に向けて進展、または高水準の維持が図られる

リデュース 軽量化・薄肉化等による使用量削減(数値目標)

素材	2015年度目標 (2004年度比)	2011年度実績	2006年度からの 累計削減量
ガラスびん	1本あたりの平均重量を 2.8% 軽量化	2.0%	117千トン
PETボトル	指定PETボトル全体で 10% の軽量化効果	10.5%	239千トン
紙製容器包装	総量で 8% の削減	6.9%	504千トン
プラスチック製容器包装	削減率で 13%	10.4%	52.5千トン

リデュース 軽量化・薄肉化等による使用量削減(数値目標)

素材	2015年度目標 (2004年度比)	2011年度実績	2006年度からの 累計削減量
スチール缶	1缶あたり平均重量で 4% 軽量化	4.7%	95千トン
アルミ缶	1缶あたり平均重量で 3% 軽量化	3.0%	42.5千トン
飲料用紙容器	牛乳用500ml紙パックで 3% 軽量化	0.3%	41トン (2011年9月から削減)
段ボール	1m ² あたりの重量を 1.5% 軽量化	2.5%	675千トン

リサイクル率・回収率等の維持・向上(数値目標)

素 材	指 標	2015年度 目 標	2011年度 実 績
ガラスびん	リサイクル 率 (カレット利用率)	70%以上 (97%以上)	69.6% (95.7%)
PETボトル	リサイクル率	85%以上	85.8%
紙製容器包装	回収率	22%以上	20.7% (内、行政収集 15.5%)
プラスチック 製容器包装	再資源化率	44%以上	40.6%

リサイクル率・回収率等の維持・向上(数値目標)

素 材	指 標	2015年度 目 標	2011年度 実 績
スチール缶	リサイクル率	85%以上	90.4%
アルミ缶	リサイクル率	90%以上	92.5%
飲料用紙容器	回収率	50%以上	42.9%
段ボール	回収率	95%以上	96.2%

連携のための共同の取り組み

八団体共同の取り組み フォーラムの開催

消費者・自治体・事業者が連携の形を共に模索

2012年度 容器包装3R推進フォーラム in 仙台

- 開催:2012年11月1・2日
仙台市青年文化センター
- 自治体、消費者および事業者
122名の来場者。
- 東北大学大学院教授
吉岡敏明氏による基調講演
- 「あるべき容器包装3R制度」など
3つの分科会



八団体共同の取り組み フォーラムの開催

2012年度 容器包装3R推進フォーラムin 仙台

1日目午後

- 3つの分科会での自治体の方々や消費者との意見交換。

第1分科会	あるべき容器包装3R制度～情報交換会～
-------	---------------------

第2分科会	容器包装の機能と役割（プラと紙を中心に）
-------	----------------------

第3分科会	災害時における容器包装等の収集・処理
-------	--------------------

- 全体会：各分科会からの報告と討論

2日目

- プラ容器包装中間処理委託企業、震災ガレキの仮置き場・仮設焼却施設の見学会に、42名の参加



見学会（井戸搬入場）写真 12

八団体共同の取り組み

3Rセミナーの開催

- 容器包装に関する自治体・市民・事業者の取組み等の情報交換と啓発の場の提供
- 3R活動にあたっての問題解決や協働の取組みのきっかけづくりを目指して、3R推進セミナーを開催。

2012年度 『容器包装3R連携 市民セミナーin 札幌』

- 2012.9.3:札幌エルプラザにて開催 参加者 約115名
- 基調講演：北海道大学大学院工学研究院教授 松藤敏彦氏
- 当連絡会による活動報告
- パネルディスカッション
“市民・行政・事業者が
協働して何ができる？”



3R推進市民リーダー育成講座

- 消費者と事業者の連携の基礎づくり・相互理解促進、情報発信
 - キーパーソン育成・支援
 - 具体的連携のためのプログラムづくり
-
- 2011年度から2012年度にかけて、都内の消費者リーダーの方々が、一般消費者にいかによりサイクルを伝えるかを考え、イベント等で使える講座プログラムを作成



リサイクルの基本「地域版」ワークショップ

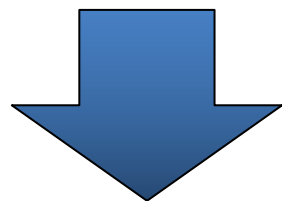
- 3Rリーダー交流会の成果の1つ：
小冊子「リサイクルの基本」

- 「川崎市民版」を市民リーダー
中心に作成



■容器包装3R制度研究会の公開ヒアリング実施

- 2010年度より「容器包装3R制度研究会」を実施
（座長：神戸大学石川教授）
→消費者や自治体、学識者を交えた意見交換
- 2011年度に主要論点の概要をまとめ



- 2012年度、公開ヒアリングを継続的に実施、議論を深める



八団体共同の取り組み

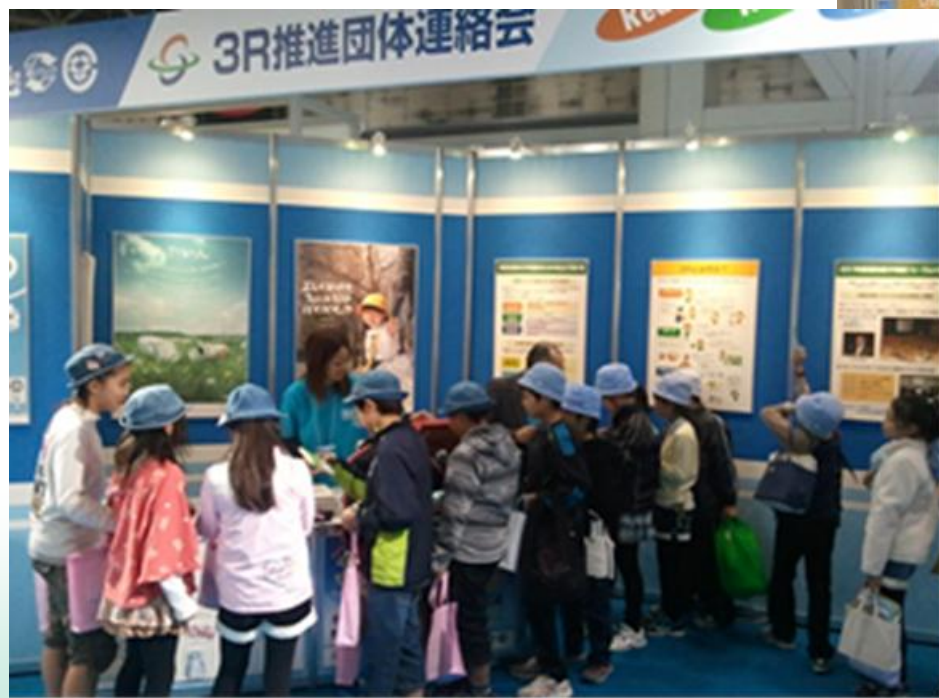
展示会への出展

エコプロダクツ



2007年度

2012年度は、12月13～15日
東京ビッグサイトで開催



2011年度

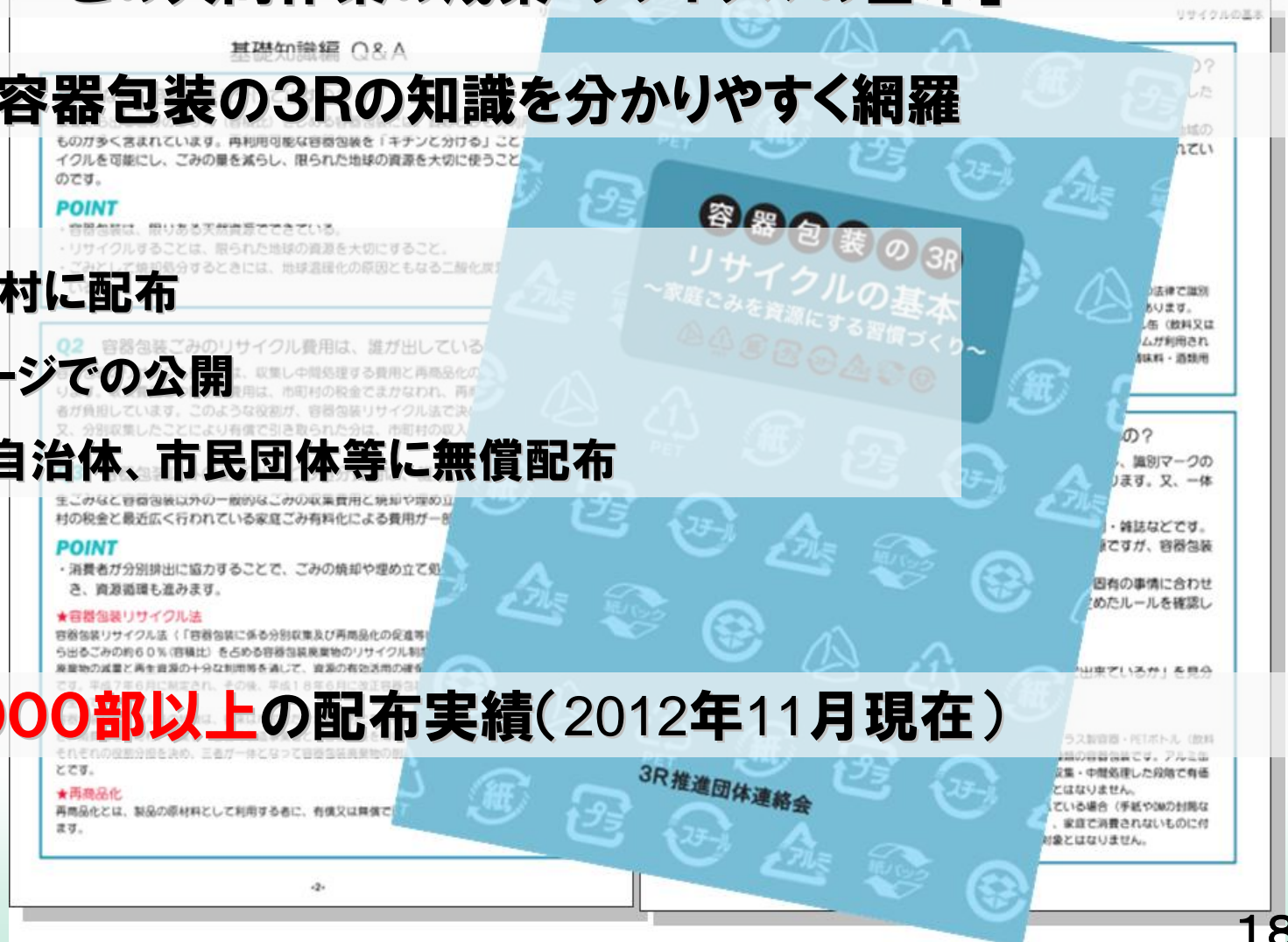
共同の取組 小冊子「リサイクルの基本」の配布

● 市民リーダーとの共同作業の成果「リサイクルの基本」

● 八素材の容器包装の3Rの知識を分かりやすく網羅

- 全国市町村に配布
- ホームページでの公開
- 希望する自治体、市民団体等に無償配布

● 累計6,000部以上の配布実績(2012年11月現在)



八団体共同の取り組み

ホームページによる情報発信



●2008年5月開設

容器包装の3R推進のために

●これまでの活動報告、「リサイクルの基本」などの情報提供

●「容り法見直し審議にあたっての提言」も掲載

容器包装の3R
リサイクルの基本
～家庭ごみを資源にする習慣づくり～
心のまごころの活動

Voluntary Action Plan
for the Promotion of
3R in Containers and Packaging
2010 Follow-up Report
2010年フォローアップ
報告書英語版
2010 Follow-up Report

容器包装リサイクル法見直し
審議にあたっての提言

3R
未来へとつながる3R社会をめざして
3R推進団体連絡会
新パンフレット

私たちのホームページへようこそ

3R推進団体連絡会は、容器包装リサイクル法に関連する事業者団体が連携して、容器包装の3R(リデュース・リユース・リサイクル)を進めるために結成されました。

■新着情報

当連絡会の新パンフレットができました。

当連絡会の成り立ち、活動などを紹介する新しいパンフレットができました。こちらのページ、または左側のリンクから閲覧、ダウンロードできます。

第7回容器包装3R推進フォーラムを開催します

今年で7回目となる容器包装3R推進フォーラムは、「容器包装3Rの将来」と題し、2012年11月1日～2日の2日間、仙台市にて開催します。フォーラムの詳細及び申し込みはしくはこちらのページからどうぞ。(別ウィンドウが開きます)

容器包装リサイクル法の見直し審議にあたっての考え方を掲載しました。



おわりに

**3Rのさらなる推進に向け、
引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。**

ありがとうございました。

参考資料

各団体個別による取り組み紹介

● WEBサイト等での情報発信



←「リターナブルびんポータルサイト」

軽くなったびん入り商品を紹介↓

コカ・コーラ ゼロ (242ml) 日本コカ・コーラ株式会社

■商品について
リターナブルびん入りコカ・コーラのカロリーゼロ製品。主としてホテルやレストランなど、あきびんの返却が確実な飲食業で販売しています。(発売地域:主として関東)

■軽量化について(工夫したところ等)
従来のリターナブルびんは、369gのびん重量、192mlの内容量でしたが、新たに開発した軽量リターナブルびんは、従来びんに比べ、119g、32%軽量化し、且つ、外寸はそのままに、内容量は242mlと、50ml増量が可能になりました。卸価格も据え置かれており、結果として容量の増加による付加価値を提供しています。(2009年開発、2010年5月導入)

	従来	軽量化後
びんの質量 キャップ、ラベル、中身を含まない 1本あたりの質量	369g	250g
びんの高さ	197 mm	197 mm

● 再資源化量の拡大に向けた取り組み

- 全国自治体の分別収集の実態調査アンケートを実施
- 自治体別住民1人当たり収集量の集計・分析
- あきびんの品質向上に取り組んでいる全国自治体の取り組み事例を「ホームページ」で紹介

• リデュースへの取り組み成果

- 2011年度: 主要17品種ごとに目標値を設定した中での10容器で、目標を達成する成果
- 削減効果量が計画を21.8千トン上回る68.7千トン、軽量化率10.5%を達成

• リユースに近い“ボトルtoボトル”への取り組み

- 2011年度から、メカニカルリサイクルBtoB(物理的再生法)による商品導入が開始



- 再生フレーク使用量調査を実施



自動車内装材(自動車関連)



カーペット(インテリア)



防草シート(土木資材)

- 各種PR・啓発事業、海外技術調査等の展開



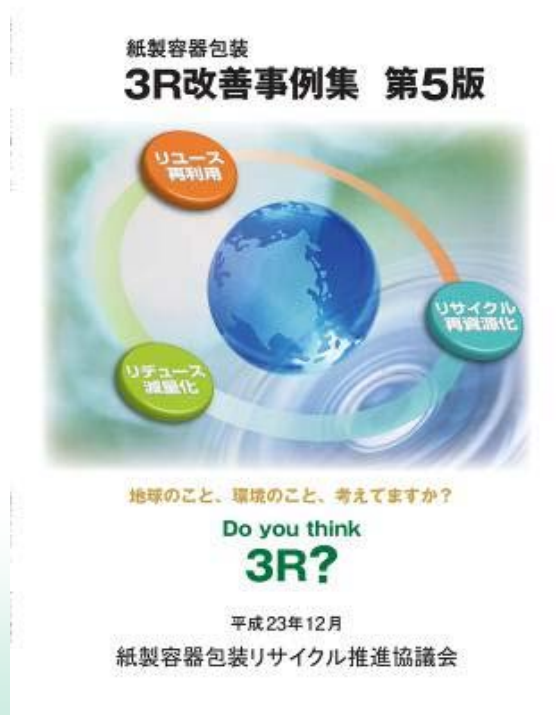
「知ってほしいペットボトルのこと」



● 紙製容器包装 3R改善事例集第5版を発行

- 会員団体企業を中心に事例提供
- 業界全体のレベルアップの促進、及び主体間連携のための情報提供ツールとして活用・配布
- 環境配慮設計の考え方を掲載

● 平成17～23年度の活動・調査結果をまとめた報告書も発行



- 回収率算定のための実態調査を実施
 - － 組成分析、家庭モニター調査等
- 識別マーク周知のための広報を推進
 - － 分かりやすく、合理的で高品位な分別の推進に向け、識別マークについて提言案を検討
- アルミ付き飲料用紙パックの回収促進
 - － 市民団体との協働による「酒パックリサイクル促進協議会」の活動を支援
 - － 小売酒販店を主体とした回収拠点「エコ酒屋」
 - － 酒造メーカーで発生する損紙のリサイクルシステムの構築

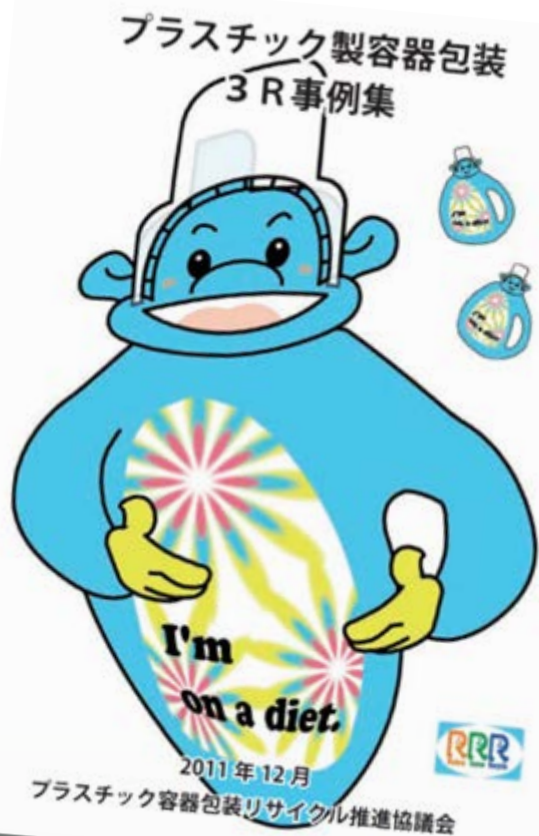


● 環境配慮設計と3R事例

- リデュースや環境配慮設計への日頃の取り組みの成果を、第4版3R事例集としてまとめ
- 2008年～2010年迄の事例も、併せて掲載

● 提言(案)を取りまとめ

- 容り法見直しに向け提言案を作成
- これを基に、数多くの主体との意見交換を積極的に実施



容器包装リサイクル制度に関する提言
(案)

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会

2011年12月

- 自治体アンケート調査を実施
 - 2010～2011年の2年間の調査結果を公表
 - アンケートの調査結果などを情報提供し、自治体との交流を促進
- 第6回自治体と事業者の交流会を開催
 - 「プラ容器包装リサイクルについての相互理解を深め、連携・協働へ」をテーマに、2012年2月に開催
- プラ推進協セミナーを開催
 - 制度見直しの論点、処理方法などをテーマに、計3回のセミナーを開催



● 協働型集団回収セミナーの開催

- 「協働型集団回収」に関する調査を5年間かけて実施
- 「協働型集団回収マニュアル」を約2千ヶ所に配布
- 全国各地でセミナーを開催

● 主体間連携型の調査を実施

- スチール缶等の分別収集・処理・再資源化状況調査
- 離島・山間部でのリサイクル状況実態調査
- 店頭回収・拠点回収状況調査
- スチール缶の他規格混入再資源化実態調査



● 普及啓発広報活動の展開

- 広報用ポスターにてリサイクル推進の普及啓発
- 広報誌等による先進的環境情報の提供
- ホームページによる最新情報の提供
- 施設見学会を実施
- 受入・出前授業の実施
- スチール缶リサイクルポスターコンクールを実施
- 環境イベント等への出展

● 社会貢献としての支援事業

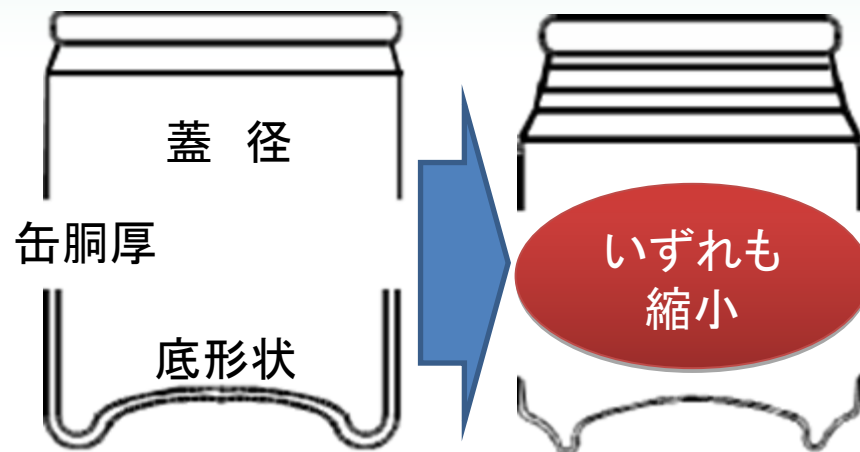
- 集団回収の推進支援
- 環境教育の推進支援
- 震災活動への支援
- 国際貢献

● 散乱防止・美化キャンペーンを実施



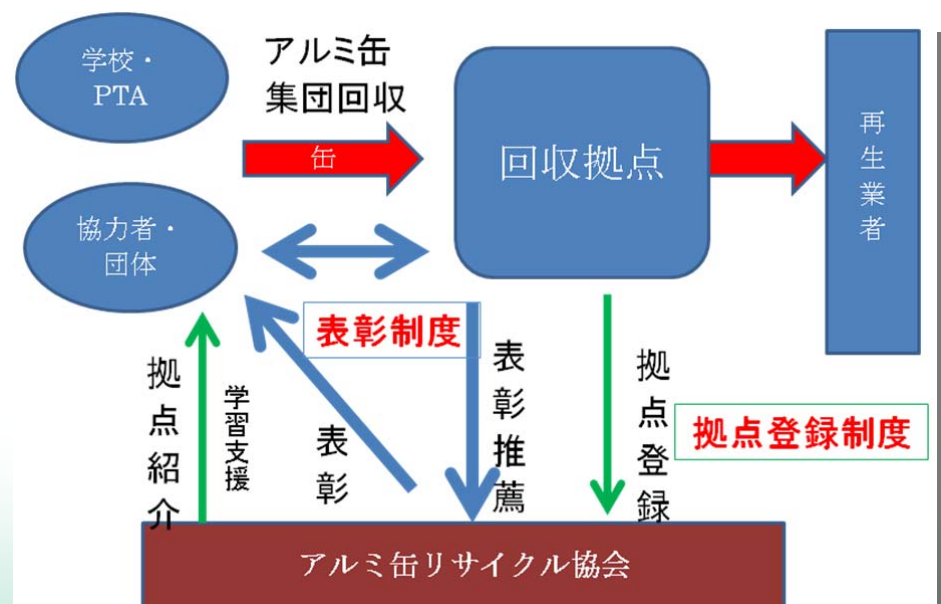
● リデュースの取り組み

- 飲料メーカーと共同で形状変更を継続的に実施



● リサイクルの取り組み

- 回収拠点登録制度
- 優秀校・優秀回収協力者表彰
- 協会への訪問学習受入
- 展示会等への資料配布など



- 調査研究
 - － アルミ缶リサイクルフロー(毎年度)
 - － 自治体の回収実態アンケートの実施
- 集団回収支援
 - － アルミ缶回収優秀校(小・中学校)表彰
 - － アルミ缶回収協力者(一般)表彰
 - － 優秀回収拠点表彰
 - － 3R推進功労者等表彰



- 牛乳パックのリデュース
 - － 500ml牛乳パックの軽量化への取り組み
 - 品質保持、運搬時の中身保護等の確保



- 紙パック再利用・再活用啓発の取り組み
 - － 牛乳パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール



- 地域の回収力を高める取り組み
～市民・自治体・事業者の連携～
 - － 紙パックリサイクル促進地域会議
 - － 紙パックリサイクル講習会
 - － ステークホルダー会議
 - － 環境キャンペーンの拡充と識別マークに
標語と展開図を付記
 - － 紙パック回収ボックスの提供(20,000個)

- 教育や学習の場における
活動推進
 - － 全国で牛乳パックリサイクル
出前授業を実施



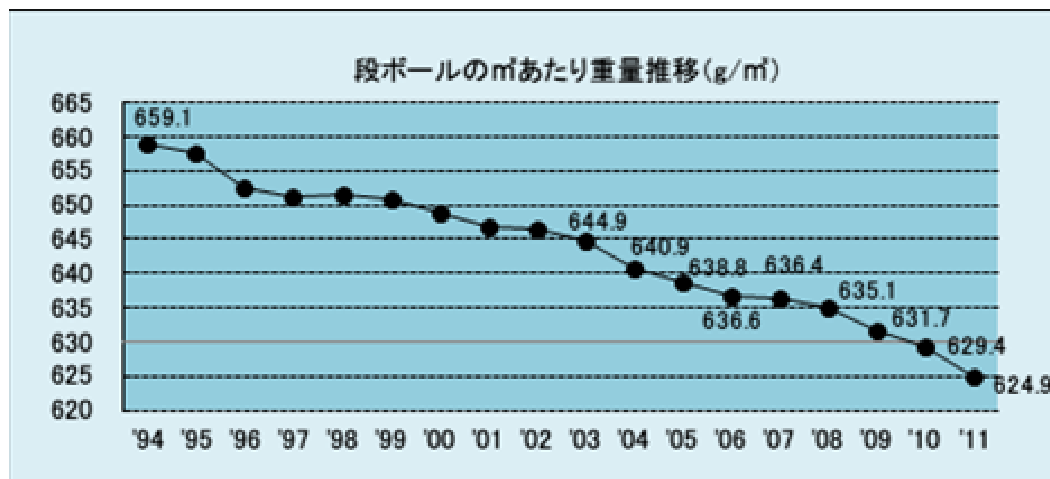
牛乳パック出前授業
をしてくださった
みなさんへ



ありがとうございました
日進市立東小学校 4年生



- 段ボールのリデュース



- 大きく削減が進行
- 第二次目標を修正予定

- リサイクルの推進、リサイクルマークの表示促進
 - 回収率は95%を上回る水準を維持
 - 国際段ボール協会 (ICCA) における世界共通のリサイクルマーク表示は90%以上を維持

- 家庭から排出される段ボールの調査

- 家庭への経路について2011年9月に調査

- 店舗購入商品梱包48.4%、通販商品梱包16.9%、贈答品15.4%、
など

- 普及・啓発活動の展開

- 可茂衛生施設利用組合(岐阜県可児市)
「ささゆりグリーンパーク」でのイベント時の
リサイクル啓発展示
- 環境学習センター「アスエコ」(岡山市)での
イベント「大恐竜展inアスエコ～恐竜から
学ぼう！地球の環境～」に児童向け
リサイクルパンフレットを提供
- エコプロダクツ2011への出展



了